



3分でわかる

まちの総務 サービスの紹介資料

アジェンダ

- まちの総務とは
- サービスについて
- 会社概要

➤ まちの総務とは

まちの総務

中小企業の課題である、慢性的な人員不足の補助サポートの一環として主にホワイトカラー業務と言われる総務系の作業を軽減を目的とし企業内業務を横断的に補助するためのコミュニティスペースです。

課題を持つ人

- ✓ 成功事例の紹介と情報共有
- ✓ コミュニティーで意見交換
- ✓ ヘルプセンターITサポート

解決策を持つ人

「あなたの課題は既に回答を持っている誰かがいます」
ここを繋げるのが「**まちの総務**」の役割です。

➤ まちの総務とは

◆ストーリー「まちの総務に至った経緯」

大手メーカーにて数多くのシステム開発を経験し、小さなシステム会社を起業
中小企業向けにシステム開発をサービスする事業を開始するが、中小企業に於
いて予算、人員規模その他諸々で新規システム開発のハードルが高く中小企業
向けのデジタル化は推進は進まないのが実情であった。

多くの企業経営者や担当とのコミュニケーションの中、大手企業とは違う
中小企業独自の共通課題が見えてきた。

- ✓ 人員規模
- ✓ 予算規模
- ✓ 社内に専門家がない

この辺が大手企業と中小企業との決定的な違いです。

その解決策が中小企業横串サポート「**まちの総務**」のコンセプトになります。

➤ まちの総務とは

◆ まちの総務が提供するサービス

国が推奨しております「**デジタル化推進**」 経済産業省 DXレポート2.2より
世界から遅れをとった「デジタル化」において「**デジタル産業への変革に向けた**」
キーワードは「**個社単独では無く産業界で横串をさした（連携）仕掛け作り**」を
推奨しております。

そのためのポイントは2つ

- ✓ 「**デジタル環境の底上げ**」
- ✓ 「**デジタル人材の育成**」

以上の2つを「**まちの総務**」サービスとして中小企業さま向けに提供いたします。

➤ サービスについて

まちの総務。 デジタル推進サポートプログラム

【初級編】 デジタル化を 始めたい企業 向け	SaaS導入	SaaS製品選定アドバイス 導入サポート、Q&Aサポート 社内関係者調整、マニュアル作成	・システム導入費用（実費） ・システム導入サポート費用 月額3万円～
	システム導入	ノーコードツール「kintone」活用 汎用アプリの導入 導入事例の紹介、Q&Aサポート	
【中級編】 デジタル化を 一歩進めたい 企業向け	SaaS導入	SaaS製品選定アドバイス 導入サポート、Q&Aサポート	・システム導入費用（実費） ・教育訓練費と併せて システム導入サポート費用 月額15万円～ * 福利厚生費教育訓練費経費計上
	システム導入 社員教育	ノーコードツール「kintone」活用 汎用アプリの導入と社内開発人員育成 導入事例の紹介、Q&Aサポート	

➤ サービスについて

◆ 導入事例 事例①：土業向けデジタル化推進事例

土業系 業務効率化の展開事例

内容	グループウェア導入による情報のデジタル化共有 改善ストーリーに沿って現行業務の分析を行いながら「グループウェア（サイボウズOffice）」を導入
導入効果	事務所内でチーム業務でありながらも、共有環境の弱さから非効率な部分があった。 今回の現行業務の分析（コア／ノンコア業務分析）を行い、業務範囲を明確にして効率的な チーム共有出来る環境を整えた。

改善ストーリー

第①Step	共有ファイルの保存先の体系化
第②Step	顧客ヒアリング情報の一元化（マスター情報の共有）
第③Step	業務フロータスク化と作業分類（コア、ノンコア）
第④Step	顧客ヒアリング情報のデジタル化
第⑤Step	業務タスクをプロジェクト管理ツールで進捗管理の見える化を実施
第⑥Step	コア業務とノンコア業務に分類して人員増員配置

サイボウズ Officeの紹介	チームの作業効率をアップさせる中小企業向けのグループウェア。スケジュール管理やメッセージ機能、掲示板、ファイル管理、ToDoリスト、アドレス帳、タイムカードなど様々な機能が備わっており、のべ65,000社以上の企業に導入されている実績をもちます。1ユーザー500円／月
まちの総務 の役割	「サイボウズ Office」はクラウド対応なのでリモートで導入から運用までサポートさせていただきます サポート費用：月額 3万円～

➤ サービスについて

◆ 導入事例 事例②：人材派遣業向けデジタル化推進事例

人材派遣業向けデジタル化推進事例

名 称	株式会社 OKAYAMA (群馬県邑楽郡大泉町)
現状課題	スタッフの採用から各種契約業務や給与計算、請求業務など、人材派遣という業種は業務内容が多岐に渡るため、慢性的な事務業務の多忙化や属人化に陥りやすい傾向にあります。
デジタルにより	日々の事務業務は積み重ねの繰り返し作業ではありながら、多くのスタッフと絡むために日々のトラブル対応から派遣先事業者さまとの折衝などデジタルとアナログが混合する業務になっております。これらの事務処理管理部分を抜き出してアプリやソフトで作成・管理できるようにする。
どう変わるか	各種管理業務にかかる時間が減ることで営業及び事務スタッフに余裕が生まれ、派遣スタッフや派遣先事業者と向き合う時間を確保することができ質の向上につながる。残業も減り、離職の防止、人材確保にもつながる。派遣先の担当業務も効率化出来るので派遣会社としてのブランド化にも寄与する。
情報共有	営業&事務スタッフのコミュニケーション環境を改善するためLINE WORKSを導入。スタッフどうしの連携が強化され派遣先トラブルや情報共有が効率化し、派遣サポートの質の向上を実現しています。
デジタル環境整備	事務所内のデジタル化環境として高速Wi-Fi環境を整備し、営業スタッフ全員に専用スマホを貸与し場所を選ばずにいつでも情報確認が可能。
電子契約書の導入	派遣業務の特性上、契約書の種類や押印書類の数も多く、押印処理から契約書保管（相互保管）など、自社内だけでなくお客先担当者のご負担もかけております。電子契約書システム「Freeサイン」を導入して自社とお客さま双方の合理化を実現しお客先からも高評価を得ております。
クラウド勤怠管理の導入	派遣スタッフの勤怠管理は派遣先企業さまの状況により、様々な仕組みを運用しており毎月勤怠締め時期には集計業務で多忙になります。クラウド型勤怠管理システム「KING OF TIME」を導入して勤怠集計の効率化を行い、派遣先企業さまの確認業務も楽になり担当者からも高評価を得ております。

➤ サービスについて

◆ 導入事例 事例③：幼児教育（保育園、幼稚園）向けデジタル化推進事例

幼児教育（保育園、幼稚園）向けデジタル化推進事例

名 称	社会福祉法人つくし会 つくし保育園(群馬県太田市)
現状課題	登園管理や計画・記録等、書類作成の業務量が多く、保育士に大きな負担がかかっている またこのことにより、子どもに向き合う時間が削られ、保育の質の低下が懸念
デジタル により	登園管理、計画・記録、連絡帳、勤怠管理等の書類について、アプリやソフトで作成・管理できるようにする。
どう変わるか	保育士等の書類作成業務にかかる時間が減ることで保育士に余裕が生まれ、子ども1人ひとりと向き合う時間を確保することができ質の向上につながる。持ち帰りの仕事や残業も減り、離職の防止、人材確保にもつながる。
登園管理	登園管理、計画・記録、連絡帳、勤怠管理等の事務業務の効率化を目的に保育業務システムを活用し情報共有化を実現。総合保育ポータル「Kid's View」導入
キャッシュ レス化	現金による集金のリスクを解消！ 実務も11時間→20分に軽減、延長保育料や給食費などの現金払いをキャッシュレス化 キャッシュレス決済システム「エンペイ」導入
情報共有	園内のコミュニケーション環境を改善するためLINE WORKSを導入。職員どうしの連携が強化され保育業務が効率化し、保育の質の向上を実現しています。
デジタル 環境整備	園内のデジタル化環境として高速Wi-Fi環境を整備し、職員全員にタブレット端末を貸与し場所を選ばずにいつでも情報確認が可能。
リモート教育 の実施	園児対象に南半球の講師とZoomシステム活用してしてリモート環境にてデジタル教育や英語教育を定期的に実施。
園内情報の 映像化	職員のデジタル推進担当を中心に「日頃の園活動」や「イベント情報」を映像編集して保護者に情報提供しております。特にコロナ禍で活動制限がされている中、保護者からも好評をいただいております。

➤ サービスについて

◆ 導入事例

中堅製造業：精密機械部品製造

- ◆ ニーズ：クレーム台帳、設備保守台帳管理の脱Excel化
- ◆ 課題：ISO管理の一環で各種管理台帳をExcelにて作成、データ量も多くなりExcel管理では不具合もあり管理が属人化しておりシステム化を希望。
- ◆ 対応策：「Kintone」活用を選択し、社内人材を教育しながらデジタル化移行を実施。

サービス業：B2B製品販売業

- ◆ ニーズ：顧客管理、見積請求書等のExcel管理が頻雑
- ◆ 課題：営業担当と事務部門との連携が難しく書類の不備が多い
- ◆ 対応策：「Kintone」を導入して部門間で情報を共有して伝達ミスや出納書類を効率化。

中堅製造業：半導体製造会社

- ◆ ニーズ：計測器校正管理をExcelにて実施、定期校正管理が頻雑
- ◆ 課題：管理台数も多くExcel台帳では管理や再活用に限界を感じている
- ◆ 対応策：「Kintone」を導入して部門間で情報を共有して運用管理を効率化

➤ 会社概要

- 社名 CommStep合同会社
- 代表 豊田 幸弘
- 所在地 群馬県太田市
- 連絡先 info@commstep.com *送信する際は@を小文字に変換



topics

2023年 デジタル庁『デジタル推進委員』に任命

